

2023年度

第62回 日本社会学史学会大会プログラム

期日：2023年6月24日（土）～25日（日）

会場：日本大学文理学部（百周年記念館・国際会議場）

☆第1日目 6月24日（土）

大会受付開始12時～

I 理事会 (12時～12時50分)

II 開会の辞 (12時55分～) 日本社会学史学会会長 鈴木健之

III 一般研究報告1 (13時～14時15分) 司会 鈴木健之 (立正大学)

①エミール・デュルケムにおける「道徳の実証科学」の理論形成

盧 秀彬 (東京大学大学院生)

②AGIL再考—パーソナル理論の修正から応用へ—

大黒正伸 (創価大学)

③ヴェーバー後、百年から：ニクラス・ルーマンのウィーン

—意識哲学のシステム論への変換—

森 元孝 (早稲田大学)

IV 一般研究報告2 (14時25分～15時40分) 司会 伊奈正人 (東京女子大学)

④「生きづらさ」の克服のために—フロムの「魔術的助け手」をめぐって

原田聖士 (立正大学)

⑤「社会的世界」、「行動の一貫性」、「重要な他者」はどのように論じられてきたか

—シブタニの“Reference Groups as Perspectives”を起点に教育の場への適用を試みるために—

篠原真史 (佛教大学大学院生)

⑥「ノルベルト・エリアス問題」の所在

小田和正 (北海道大学)

V 一般研究報告3 (15時50分～17時5分) 司会 清家久美 (立命館アジア太平洋大学)

⑦占領期日本における社会学と革命論

品治佑吉 (立教大学)

⑧「時間の社会学」史・試論

梅村麦生 (神戸大学)

⑨日本における社会学の創成—米田庄太郎と賀川豊彦—

荻野昌弘 (関西学院大学)

VI 総会 (17時10分～17時30分)

☆第2日目 6月25日(日)

Ⅶ シンポジウム (10時30分～14時50分)

共通テーマ 《学説史を通じて「社会学」とは何だったのかを問うⅡ
—1920～60年代 諸理論パラダイムの形成—》

司会 佐藤成基(法政大学) 橋本直人(神戸大学)

- | | | |
|-------|---|--------------|
| ●報告1 | 社会的拘束下の人間行為とシュッツの現象学的社会理論
—〈日常の社会学〉という視点をめぐって— | 中村文哉(山口県立大学) |
| ●報告2 | 激動期におけるパーソンズの理論展開
—秩序の枠組としての文化の不変的位置づけ— | 白石哲郎(佛教大学) |
| ●報告3 | 歴史の転換点とフランクフルト学派の挑戦
—学際的唯物論から資本主義的近代化のパラドクスまで— | 出口剛司(東京大学) |
| ●討論者1 | 浜日出夫(東京通信大学) | |
| ●討論者2 | 梅村麦生(神戸大学) | |

趣旨説明 (10時30分～10時40分)
報告 (10時40分～11時55分)
休憩 (11時55分～13時)
討論 (13時～ 13時30分)
リプライ (13時30分～13時50分)
フロア・総括 (13時50分～14時50分)

【大会のご案内】

- 報告時間 自由報告は25分（報告15分、質疑応答10分）
シンポジウムの報告時間は各25分、討論者発言は各15分
- 大会参加費 一般会員2,000円 学生会員1,000円（非学生会員含む）
- 懇親会 開催いたしません

- 大会・総会会場 百周年記念館2F・国際会議場
- 会員控え室 百周年記念館2F・会議室2
- 理事会会場 百周年記念館2F・会議室1
- 懇親会会場 開催いたしません

- 論文抜刷 1週間前までに事務局宛メールにて、必ずお申し出ください
書籍等扱い 大会当日の申し込みは一切お受けできません。厳守ください
- コピーについて コピーは個人の責任でお願いします。大会開催校および事務局では、一切のコピーサービスをお断り申し上げます

- 開催校所在地 〒156-8550 世田谷区桜上水3-25-40
(大会本部) 日本大学文理学部社会学科仲川秀樹研究室
TEL 03-5317-8978 (研究室直通)

- 飲食施設 大会1日目は、大学学内飲食店・コンビニ等の営業がございます。
大会2日目は、学内飲食店・コンビニは休業になります。
下高井戸駅および大学周辺の飲食店コンビニ等ご利用ください。

- 交通機関 京王線・下高井戸駅下車、徒歩8分
校舎案内 (詳細は、本学会HPおよび日本大学HPをご覧ください)

☆日本社会学史学会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部社会学研究室
TEL 03-5317-8978 (庶務担当直通)
FAX 03-5317-9423 (学科研究室)
<http://www.jashs.jp/>
mail@jashs.jp

<本学会大会における新型コロナウイルス感染対策について>

○入構について

2023年度第62回日本社会学会史学会大会は、開催校である日本大学文理学部の感染対策基準の下に対面で実施いたします。

本年度より、すべての規制は解除され、大会会場および学内へは自由に入場できます。その他の留意事項は、日本大学文理学部HPをご参照ください。

○大会会場および控室等について

本学会開催場所である百周年記念館国際会議場は、広いスペースを確保し、座席等は余裕をもって着席できるよう配慮しております。

会員控室のペットボトル等飲料ドリンク等は、衛生面を配慮して準備しております。

大会中の休憩・食事等は、会員控室および百周年記念館エントランスなど、ご自由にお使いいただけます。

○大会開催日の飲食店等について

大会第1日目の6月24日（土）は、学内学食、売店、コンビニ（ファミリーマート）の営業がございます。ご利用ください。

大会第2日目の6月25日（日）は、休日のため学内飲食施設は営業しておりませんので大学周辺の飲食店およびコンビニ等をご利用ください。

以上